

第12回高等教育推進センター FD・SD 講演会 社会で求められる主体性（エージェンシー）と個性の育成 一人ならでの相互作用を目指して―

日 時：2021年3月5日(金) 15:00～17:00

開催方法：Zoom ウェビナーによるオンライン開催

開 会 の 辞

北 村 昌 幸（関西学院大学 高等教育推進センター長）

関西学院大学高等教育推進センター長の北村昌幸と申します。私どものセンターでは、全学的にFDを進めていくために、様々な企画を立ち上げて実施しております。また、FDだけでなく、職員向けのSDにもあわせて取り組んでおります。じつは一年前、昨年3月にもSD講演会を企画しておりました。しかしながら、3月に入った頃に緊急事態宣言が発令され、せっかく参加者を募っていたその企画も直前になって中止しなければなりませんでした。そこで、昨年出来なかった分の埋め合わせとして、今年度は是非実施したいと考えておりました。結局、年度末の押し迫った時期になってしまいましたが、こうしてFDとSDを兼ねた形での講演会を開くことができ、大変うれしく思っています。

一年前、新型コロナウイルス感染が始まったころ、世間は大騒ぎでした。しかし、少しずつZoomを利用したリモートワークが普及し始め、オンライン会議あるいはウェビナーを使った講演会も盛んに行われるようになってきました。多くの方々がZoomに慣れ、このような形で開催できるようになるとは、一年前は予想もつかなかったことです。このZoomウェビナーのおかげと言ってもいいでしょうが、このたび講演会をオンラインでの開催に切り替えたことにより、通常ならご多忙中お招きするのが難しいと思われる遠方の講師の先生に、幸いにも御講演をお引き受けいただくことができました。それだけでなく、参加者も自宅、あるいは職場から非常に簡単にアクセスすることができるわけで、今回200名を超える参加希望が寄せられました。非常事態における特殊な開催ではありますが、Zoomを使う形によって多くの方々に御参加いただけたことも、思わぬ収穫であり、大変ありがたく思っています。

それでは、開会に先立ち、簡単に私から講師の先生の御紹介をさせていただきたいと思います。今回、お引き受けくださったのは、溝上慎一先生です。学校法人桐蔭学園の理事長で、桐蔭横浜大学の学長を務めていらっしゃいます。

溝上先生は、神戸大学を御卒業後、大阪大学大学院人間科学研究科の博士前期課程を終えられ、その後、京都大学に助手として着任されました。そして、助手、講師、准教授、教授と長くキャリアを積まれた後、現在の桐蔭学園に移られました。先生の御専門は、青年心理学、あるいは発

達心理学、もう一つ、それとあわせて、教育の実践研究にも取り組んでこられました。溝上先生の詳しい経歴、あるいはこれまでの業績その他は、先生のウェブサイトに記載されています。そちらを拝見しましたが、多数の著書——単著、共著、編著書——が表紙の写真付きで紹介されていましたし、論文や学会発表などの業績も、スクロールしていくのが大変なぐらい、たくさん挙げられています。非常に輝かしい研究業績です。今日、御参加いただいた方で、そちらのウェブサイトはまだ見たことがないという方がいらっしゃったら、今日の御講演の後、是非そちらを御覧いただければと思います。

たくさんの業績だけではなく、先生は現在様々な委員も務めておられますし、それから、大学の学長という重責を担っておられますので、大変お忙しいと存じます。ですが、今回このような形で御講演をお引き受けくださったこと、関西学院を代表してお礼を申し上げたいと存じます。溝上先生、本当にありがとうございます。

長くなりましたが、私の挨拶と講師の御紹介に関してはこれで終えたいと思いますので、早速、御講演をお願いしたいと思います。